

公表日

令和8年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 那珂川教室

保護者等数(児童数) 18名

回収数 11件(割合65%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	2	1		・広いスペースで、活動しやすいと思います。	運動のプログラムの際は、児童の支援室を使う等、なるべく広い環境で取り組んで参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2		1	・利用人数に対して、職員さんが何名配置されているかは分かりません。	支援の際の基準の配置は満たしているためご安心下さい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			1	・学習室など、静かに集中したいなど、部屋があるのていいと思います。 ・明るく清潔な環境だと思います。	支援室や学習室などの配置等、検討に検討を重ね、より良い支援室を目指していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				・息子の不得意なことを伸ばして頂けるよう、支援してもらっています。	毎朝、利用のお子様の情報を職員で共有しております。今後もお子様一人ひとりに寄り添った支援を目指していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11				・人数に対して臨機応変に対応してくれます。	人数が多い場合は、集団プログラムに加えておやつ作りを取り入れたりと、臨機応変な対応に努めています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				・会議をして頂き、相談しながら作成していただいています。	モニタリングを通して、よりお子様に合った計画が出来るよう、児童発達支援管理責任者が中心となって作って参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			3	・こちらからの意見を十分に汲み取ってくれます。 ・会議をして頂き、相談しながら作成していただいています。	ありがとうございます。引き続き、お子様一人ひとりに合った計画を作成していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11				・息子の不得意なことを伸ばして頂けるよう、支援してもらっています。	これからも集団プログラムを通して様々な体験を提供できるよう努めて参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				・毎回違う活動を行って下さり工作の時は持ち帰るのが楽しみです。	製作が好きなお子様は多く、製作時のアイデアにはこちらも驚かされます。そういった強みを伸ばしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	2	3	・児童館、図書館など公共の場の利用をする活動などがあります。 ・児童館や図書館など色々な所に連れて行って下さるのでありがたいです。	喜んでいただき、嬉しく思います。引き続き、公共施設へのお出掛けを行っていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10			1	・丁寧に、説明していただきました。	ありがとうございます。これからも契約時に分かりやすい説明を心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1		2	・丁寧に、説明していただきました。	ありがとうございます。これからも支援に関する分かりやすい説明を目指していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11		3	2	・定期的に、行っており、他のご家族との意見交換が出来たり、研修会では勉強になります。	これまで多くの方にご参加いただきありがとうございます。これからも保護者様の力になれればと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10		1		・送迎時に気になることを伝えてくれる。 ・HUGや送迎時に伝えることができています。 ・送迎の再の様子などを教えていただいております。	引き続き、送迎時や電子連絡帳等の保護者様とお話する機会を大切にして参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8		2	1	・送迎時に、相談に乗っていただいております。	いつでもご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				・いつも寄り添って頂きありがとうございます。 ・小さい頃から、見ていただけてるので成長している姿もたくさん教えていただいております。	ありがとうございます。引き続き、お子様に寄り添った支援を目指していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされているか。	9			2	・参加したことがないのですがあると思います。 ・定期的に、行っており、他のご家族との意見交換が出来たり、研修会では勉強になります。	保護者参加のイベントは今後も企画していきます。ご都合が合えば是非ご参加ください。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1		1	すぐ相談しやすい環境で親身に聞いて頂けます。	迅速に対応が出来るように心掛けています。何かお悩みがあればお気軽にお声掛けください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1		1	HUGや送迎時に伝えることが出来ています。 ・アプリでの情報伝達の共有が行えていると思う。	引き続き、送迎時や電子連絡帳等の保護者様とお話しする機会を大切にして参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			1	・連絡帳がいつも丁寧に細かく記録されていて大変嬉しく思います。 ・連絡帳もアプリになり写真も添付してくれてより、分かりやすいです。 ・毎月返信も発行されており活動把握事はHUGにて分かりやすく書いて頂いています。	教室でのお子様の様子を写真も添えてイメージしやすいよう心がけて参ります。保護者の皆様にはいつもお便りをご覧いただきありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1	避難訓練をして頂いているので、息子も慌てず机の下に隠れるなど実際行動ができています。	いつ起こるか予測できない災害に備えて、毎月避難訓練を行って参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			2	事故等がないため今のところ説明はありません。	もし万が一、事故が起きた場合は、速やかに保護者様にご連絡させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				・長年、通所しているため、安心して素の様子をだせていると思います。 ・先生方があいじょうもって接していただいているので、おすこも安心して通えていると思います。	ありがとうございます。引き続き、安心して通っていただけるよう環境作りに努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				・利用日の朝はいつもニコニコして嬉しそうです。 ・色々なプログラムがあり、何をしたらいいのか楽しみます。 ・息子が好きな絵をたくさんかかせていただいたり活動も楽しみにしています。	ありがたいお言葉嬉しく思います。お子様にとってこぼんが息抜きの場になるように取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				・こちらがきになることなど、いつも丁寧に対応していただいています。 ・信頼関係が出来て来ると私共も安心して預けることができています。 ・息子も楽しみにして嬉しです。ありがとうございます。	嬉しいお言葉ありがとうございます。お子様の成長の手助けとなれるよう精一杯支援に努めて参ります。

公表日

令和8年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 那珂川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1		・外出の機会を増やす必要あり ・学年が上がるにつれ動作が激しくなっているため、物の配置を改善が必要
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	平日は送迎の都合上、基準の配置に加え、1名多く配置している。	毎日ではないが足りない時がある
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		何する部屋か見てわかるように工夫している	物の配置の検討
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	毎朝、支援後に清掃に取り組んでおり、毎月エアコンのフィルター掃除、車内清掃、教室外の清掃を行っている	床・洗面台等、汚れている所がある
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	3	必要に応じて、クールダウンを別室で行っている	・事務所と学習室が一緒になっている ・学習室が指導員用のデスクがあったり、倉庫も物が多いため、集中したり静かにできない状況になっている
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2		PDCAを取り入れることが必要
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		毎年、社員会議で改善点を挙げていき、全体会議にて社内でも共有している	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	意見の出しやすい関係づくりに努めている	その時だけで改善はされていない
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	適宜、本部からの指示を受けている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		適宜、研修の場を設けている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎月、支援プログラムを作成し、電子連絡帳や紙媒体にて公開している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		支援する職員で不穏になった場合の対応方法を共有している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		電子の連絡帳で閲覧できるようにしている	細かい部分は共有出来ていないため、共有の強化は必要
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		こぼんはうすさくら本部の書式を活用中	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		プログラム作成時に話し合っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		活動内容が偏らないように意識して作成している	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝の朝礼にてプログラム内容を確認している	

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	支援後に、気付いた点を共有し、特変事項があれば、その日に社内全体で共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		支援記録をつけている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1	モニタリングを行った際は、会議にて職員全員に共有している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		子どもが主体となる場を設けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		児発管、あるいは管理者が出席するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		医療機関や役場との連携がとれている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		保護者様より学校の下校時間や行事について教えていただいている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2		園や学校側から要望があれば随時対応している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			対象児童がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1	本部のスーパーバイズから定期的な助言を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		外部との交流の機会がないため検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				参加の機会がない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		1	毎朝の朝礼にて共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		保護者参加のイベントを設けている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に必ず説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		子どもが主体となる場、また必要があれば保護者様にその都度確認をとっている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		保護者様から悩みがある際に面談や電話にて対応するように努めている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		定期的に保護者参加イベントを設けている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		苦情相談対応窓口を設置している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		行事の際は、お便りもしくは電子連絡帳を活用している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		施錠できる場所に保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		送迎時や電子の連絡帳にてやりとりする機会を設けている	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		地域純眠の招くイベントが出来ていないため検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルを作成している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを掲示している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		アセスメントで確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1			該当の児童がいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を作成している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		特変事項はその都度、社内でも共有している	ヒヤリハット表への記入が出来ていない (以前は小さな事でも記入し、会議で報告はあったが今はない)
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		研修の時間を確保している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		研修を社内で行った	